

# 五十嵐 さか江 (いがらし・さかえ)

## 1、プロフィール

川柳作家。昭和元年に川柳入門。以後、県内、県外の各柳誌で活躍。青森・岩手両県柳人の育成に努め、また県文芸協会理事として、他文芸と川柳の交流に努めた。

<生没>

1908(明治 41)年 12 月 27 日 ~ 1979(昭和 54)年 9 月 4 日

<代表作>

川柳句集『雪の勲章』『母の独楽』

<青森との関わり>

上北郡野辺地町に生まれる。青森、岩手両県内の営林署に勤務。

## 2、作家解説

明治 41 年野辺地町に生まれる。本名栄。野辺地小学校(高等科3年)卒業。昭和 18 年の野辺地営林署勤務をはじめ、青森、岩手両県の営林署に勤務。41 年退職後、津軽森林組合に再就職。48 年退職。昭和元年より川柳入門。県柳壇草創期より川柳を始め以後一貫して創作を続ける。県柳誌として、戦前は「みちのく」「川柳隊」に参加、戦後は「うき世」「ねぶた」「かもしか」「岩手」等。また県外の柳誌では「時の川柳」「川柳思潮」「柳都」「宮城野」等で活躍。30 年第 1 回「思潮賞」、37 年「不浪人賞」、49 年「宮城野賞」、50 年「不浪人賞」を受賞。川柳指導者として多数の若手柳人を指導育成した。45 年より県文芸協会入会。以後同会新人賞選考委員、理事を務め、他文芸と川柳との交流を深くさせた。昭和 54 年 9 月死去。享年 70。

「北の街石黙々と冬を抱き」—平成 4 年川内町の川内川溪流遊歩道「川柳の森」句碑群の一基として句碑建立。

### 3、資料紹介

○『雪の勲章』

図書

1976(昭和 51)年 10 月 20 日

190mm × 133mm

川柳句集。著者の第一句集。昭和 23 年から昭和 50 年間の作品を自選、300 句を所収。著者の代表的な作品集で県柳壇の評価が高く第2版も発行。発行者 佐々木達司。発行所文芸協会出版。

○『母の独楽』

図書

1985(昭和 60)年 9 月 13 日

183mm × 130mm

川柳句集。著者の第二句集で死去後出版された遺句集。著者の第一句集『雪の勲章』に載らなかった作品と、以降の作品を高田寄生木が編集した。発行人杉野草兵。発行所かもしか川柳社。